



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 戸田工業株式会社

コード番号 4100 URL <https://www.todakogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 寶來 茂

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 友川 淳 TEL 082-577-0055

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	27,491	11.4	1,203	△27.0	2,746	△0.4	2,677	27.2
2022年3月期第3四半期	24,676	-	1,649	-	2,757	-	2,105	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,036百万円 (38.6%) 2022年3月期第3四半期 2,911百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	464.11	460.84
2022年3月期第3四半期	365.23	362.97

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、当該会計基準等の適用により大きな影響の生じる売上高については、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	52,776	16,648	29.9
2022年3月期	51,292	13,958	24.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 15,786百万円 2022年3月期 12,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△0.9	1,600	△36.5	3,400	△18.7	3,000	△3.7	519.97

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2. 業績予想の修正については、本日(2023年2月10日)公表いたしました「営業外収益及び特別利益の計上並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	6,099,192株	2022年3月期	6,099,192株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	326,379株	2022年3月期	334,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,769,582株	2022年3月期3Q	5,764,206株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、徐々に経済活動が正常化に向かい、景気に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、原材料及びエネルギー価格の高騰による物価上昇、米中関係の緊張の高まりやウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れ等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、基幹事業である着色材料を中心に販売が好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

各事業別の概況は以下のとおりです。

機能性顔料事業は、市場の需要が前年度に引き続き旺盛であり、主に複写機・プリンター向け材料、塗料向け材料、触媒向け材料が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

電子素材事業は、世界的な半導体不足及びスマートフォンやPCの市場低迷による在庫調整等の影響により誘電体材料等の需要が低迷いたしました。一方、世界最高レベルの磁気特性を持つ希土類ボンド磁石材料の売上は主に自動車用のモーター用途として、前年より伸長いたしました。加えて、2021年8月13日に子会社化した江門協立磁業高科技有限公司を連結したこと（前年度は第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結）により、売上高は前年を上回りました。

利益面においては、原材料・エネルギー価格及び輸送費高騰の影響により営業利益及び経常利益は前年同期を下回ったものの、特別損益において、連結子会社であった戸田聯合実業（浙江）有限公司の出資持分を譲渡したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を上回りました。

以上のことから、売上高は27,491百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は1,203百万円（前年同期比27.0%減）、経常利益は2,746百万円（前年同期比0.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,677百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は52,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,484百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,481百万円、投資その他の資産のその他が1,008百万円減少したものの、現金及び預金が1,208百万円、原材料及び貯蔵品が473百万円、流動資産のその他が711百万円、のれんが606百万円、関係会社出資金が1,531百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は36,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,205百万円減少いたしました。これは主に、借入金が2,282百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が2,503百万円、賞与引当金が200百万円、長期未払金が348百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は16,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,690百万円増加いたしました。これは主に、非支配株主持分が663百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2,677百万円、為替換算調整勘定の増加742百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正については、本日（2023年2月10日）公表いたしました「営業外収益及び特別利益の計上並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,962	9,170
受取手形及び売掛金	10,524	8,043
商品及び製品	4,423	4,620
仕掛品	1,973	1,965
原材料及び貯蔵品	3,023	3,496
その他	1,480	2,191
貸倒引当金	△6	△10
流動資産合計	29,381	29,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,324	2,012
機械装置及び運搬具（純額）	1,707	1,646
土地	6,320	6,323
建設仮勘定	224	1,027
その他（純額）	783	531
有形固定資産合計	11,361	11,542
無形固定資産		
のれん	1,992	2,598
その他	154	130
無形固定資産合計	2,147	2,728
投資その他の資産		
投資有価証券	2,607	2,712
関係会社出資金	4,443	5,974
その他	1,353	345
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	8,401	9,027
固定資産合計	21,910	23,299
資産合計	51,292	52,776

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,714	3,211
短期借入金	8,601	7,979
1年内返済予定の長期借入金	3,278	4,031
未払法人税等	278	265
賞与引当金	295	95
環境対策引当金	67	72
工場閉鎖損失引当金	11	-
その他	2,029	1,695
流動負債合計	20,276	17,351
固定負債		
長期借入金	12,782	14,933
長期未払金	940	592
退職給付に係る負債	1,912	1,842
その他	1,421	1,407
固定負債合計	17,056	18,776
負債合計	37,333	36,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,477	7,477
資本剰余金	4,358	4,288
利益剰余金	△112	2,564
自己株式	△1,507	△1,468
株主資本合計	10,215	12,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	622
為替換算調整勘定	1,320	2,062
退職給付に係る調整累計額	258	238
その他の包括利益累計額合計	2,211	2,923
新株予約権	88	81
非支配株主持分	1,443	780
純資産合計	13,958	16,648
負債純資産合計	51,292	52,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	24,676	27,491
売上原価	19,049	21,623
売上総利益	5,627	5,867
販売費及び一般管理費		
従業員給料	861	922
研究開発費	892	985
その他	2,224	2,756
販売費及び一般管理費合計	3,977	4,663
営業利益	1,649	1,203
営業外収益		
受取利息	31	32
受取配当金	40	58
業務受託料	11	11
持分法による投資利益	1,069	1,349
雇用調整助成金	20	—
為替差益	33	140
その他	138	173
営業外収益合計	1,346	1,765
営業外費用		
支払利息	151	200
その他	86	21
営業外費用合計	237	222
経常利益	2,757	2,746
特別利益		
固定資産処分益	3	4
持分変動利益	—	60
関係会社出資金売却益	—	933
関係会社清算益	—	52
投資有価証券売却益	40	—
国庫補助金	20	1
受取補償金	—	36
特別利益合計	63	1,088
特別損失		
固定資産処分損	45	55
固定資産圧縮損	16	—
支払補償費	—	76
特別損失合計	61	131
税金等調整前四半期純利益	2,760	3,703
法人税、住民税及び事業税	263	490
法人税等調整額	131	91
法人税等合計	394	582
四半期純利益	2,365	3,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	260	443
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,105	2,677

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,365	3,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	△11
為替換算調整勘定	478	671
退職給付に係る調整額	△4	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	193	273
その他の包括利益合計	545	914
四半期包括利益	2,911	4,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,554	3,389
非支配株主に係る四半期包括利益	357	646

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった戸田聯合実業(浙江)有限公司は、当社が保有する持分の全てを譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった戸田磁鉄(深圳)有限公司は、清算が終了したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

なお、当該連結の範囲の変更は、当第3四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることが確実であると認められ、連結貸借対照表における総資産の減少、連結損益計算書における売上高の減少等が見込まれると考えられます。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。